



日勤労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.6.21 No. 3414

明後日・正午 明治公園へ!

すべての組合員のみならず!
日を追うごとに反戦闘争の重要性が高まっています。

この間、テレビ、新聞などあらゆるマスコミの報道でも「自衛隊」という文字が出てこない日はありません。

自民党の強権と既成野党の屈服により強行された掃海艇の中東派遣、社会党の「自衛隊容認」、総評センターの「自衛隊容認」と来年一月の解散、自民、社会、公明、民社によるPKO(国連平和維持

活動)調査団のカンボジア、タイへの派遣合意。また、教科書問題では、東郷元帥、ヤマトタケル神話の登場に見られる、文部省の新指導要領の意向にそった戦争教育そのものが復活しようとしています。

いま、われわれをとりまく情勢は、日を追って知らず知らずのうちに戦争への道を突き進んでいるのです。いまこそ反戦闘争に立ち上がるのが求められています。いざ六・二三明治公園へ!

現職の反戦自衛官を 懲戒免職



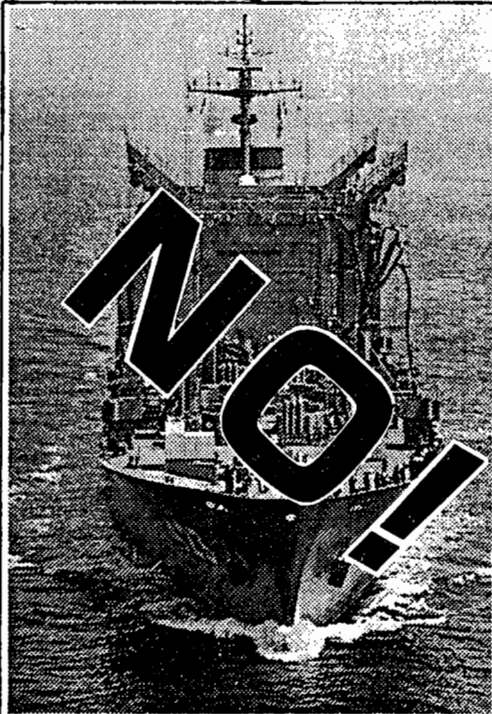
「掃海艇派遣反対」を理由に陸上自衛隊当局は、四月二十五日に三名の反戦自衛官が掃海艇の中東派遣に反対し、正当な行為として行った防衛庁長官への「意見具申」に対して、二名を五月二十七日、六月五日付で懲戒免職処分にした。理由は、「政府が決定した掃海艇派遣に反対した」「対外的アピールを目的で長官室に侵入しようとした政治性の強い行為」としている。これは、まさに旧日本軍の上官の命令は絶対服従であり、「天皇の軍隊」としての復活を意味するものである。反戦自衛官を守りぬき、戦争への道を拒否しよう。

海外派兵阻止 PKO法案粉碎 今こそ立ち 6.23から8.6コロッセムへ 広島交流センター結成

6.23から8.6コロッセムへ 広島交流センター結成

六月一六日、広島市・西区文化センターにおいて「広島県労働組合交流センター」の結成総会が開催され、県下から三〇余名の闘う仲間たちが結集し、広島における労働運動の新たなページを開いた。結成総会は二部で構成され、第一部は、元広島県教組委員長の家和純氏から、長年広島において労働運動にたずさわってきた経験にふまえた貴重な講演が行われ、労働運動の階級的武装解除が進んでいる時こそ反戦・反核を闘う労働

運動が最も重要であることが語られた。第二部では、具体的に「広島交流センター」の結成に入り、経過、規約、運動方針、予算を満場一致で承認し、役員が選出された。広島島の労働運動の原点は「反戦闘争」である。交流センターこそ、広島島の労働運動の戦闘的再生をかちとる唯一の潮流である。六・二三から八・六広島反戦闘争へ全力で闘い抜こう!



横須賀基地から出航した掃海艇「ときわ」

六・二三反戦闘争

いよいよ明後日!正午
場所 東京・明治公園
集合 千葉駅発(指定列車)
一〇時三十分⑦番線
動員 各支部・営業協議会
とも全力動員
※デモに間に合う人は、かならず参加を!